

図画工作科調査資料 作成の観点

書名	<div style="display: flex; justify-content: space-around; align-items: center;"> ○○○○ ○○○○○ </div>	発行者番号 発行者名
項目		
内 容	<p> <知識及び技能が習得されるようにするための工夫> ○対象や事象を捉える造形的な視点について、自分の感覚や行為を通して気付くことができるようにどのような工夫がされているか。 ○手や体全体の感覚などを働かせ材料や用具を使い、表し方を工夫して、創造的につくったり表したりできるようにどのような工夫がされているか。 </p> <p> <思考力、判断力、表現力等を育成するための工夫> ○創造的に発想や構想できるようにどのような工夫がされているか。 ○自分の見方や感じ方を深めたりすることができるように、どのような工夫がされているか。 </p> <p> <学びに向かう力、人間性等を涵養するための工夫> ○つくりだす喜びを味わうとともに、感性を育み、楽しく豊かな生活を創造しようとする態度を養い、豊かな情操を培うために、どのような工夫がされているか。 </p> <p> <表現及び鑑賞に関する資質・能力を相互に関連させた学習を充実するための工夫> ○〔共通事項〕の十分な指導が行われるように、どのような工夫が見られるか。 ○言語活動の充実を図る上で、どのような工夫がされているか。 </p> <p> <用具の安全な取扱いについて指導するための工夫> ○材料や用具の安全な取扱いについて、どのような工夫がされているか。 </p>	
資 料	○発想を高めるために、どのような工夫が見られるか。 ○基礎的・基本的な内容や表現の過程に関する資料について、どのような工夫が見られるか。	
表記・表現	○タイトルの示し方や図版等の説明について、どのような工夫が見られるか。 ○説明の文章や児童作品等の作者の言葉について、どのような工夫が見られるか。	
総 括	(全体的な特徴、その他)	

書名 項目	<h1>図画工作</h1>	9 開隆堂
内 容	<p> <知識及び技能が習得されるようにするための工夫> ○巻末や各題材ページで、形や色などの造形要素、表現技法や材料・用具の知識や使い方が丁寧に示されている。「造形的なものの見方や考え方」「鑑賞の方法」などの知識や技能が身に付くよう題材が工夫されている。 </p> <p> <思考力、判断力、表現力等を育成するための工夫> ○考えたり、決めたり選んだり、伝え合ったりするなど、創造的に発想・構想の力が働いている場面を掲載する工夫がされている。また、造形的な見方や考え方を深められるように、資料や題材掲載の工夫がされている。 </p> <p> <学びに向かう力、人間性等を涵養するための工夫> ○新しい素材を用いたり、様々な表現方法を取り入れたりできる題材を工夫している。また、友達との多様な活動や異学年、地域の方などとの作品を通じた交流場面が例示されている。 </p> <p> <表現及び鑑賞に関する資質・能力を相互に関連させた学習を充実するための工夫> ○〔共通事項〕に示された内容を明確にするために、授業の課題・目標や表現内容を整理し、焦点化して示す工夫がされている。 ○表現と鑑賞の一体化を図りながら言語活動を促すために、他者と関わり合いながら活動している児童の様子を、写真と吹き出しで示す工夫がされている。 </p> <p> <用具の安全な取扱いについて指導するための工夫> ○「造形の引き出し」で写真やイラストとともに、安全な用具の使い方を掲載するとともに、用具の使い方以外にも、各題材ページにおいて、配慮すべき内容を、囲みを設けて具体的に示されている。 </p>	
資 料	<p> ○作品製作の過程や発想方法のヒント、材料選択の可能性などを写真と言葉で掲載し、児童の自主的な活動を促すように工夫されている。 </p> <p> ○多様な児童作品を掲載するとともに、それぞれの考え方を尊重することで主体性や個性、創造性を培う意欲付けとなるような工夫がされている。 </p>	
表記・表現	<p> ○題材で育てたい資質・能力を三つの学習のめあてで示し、重点的に育てたい力は下線と色で強調されている。また、育てたい資質・能力に対応したキャラクターが学習を深めるアドバイスが示されている。題材の終わりには、めあてに対応した振り返りが示され、児童が自己評価をする際の手助けとなるように工夫されている。 </p>	
総 括	<p> ○教科書紙面に掲載されたQRコードを通して、動画等で題材製作の手順やポイント、用具の使い方が分かるような工夫がされている。 </p> <p> ○「みんなのギャラリー」では、各地に伝わる伝統工芸や地域の造形を取り上げ、図画工作科で培われる力が地域や身近な社会に関わることが示されている。 </p>	

書名 項目	<h1>図画工作</h1>	1 1 6 日 文
内 容	<p><知識及び技能が習得されるようにするための工夫> ○巻末や各題材ページで、工作や絵を描く活動に必要な材料や用具の基本的な扱い方が丁寧を示されている。自分の感覚や行為を通して造形的な視点について理解できるよう、題材が工夫されている。</p> <p><思考力、判断力、表現力等を育成するための工夫> ○創造的に発想や構想することができるように、題材の配列や情景写真・参考作品の掲載などの工夫がされている。また、自分の見方や感じ方を深められるように、身近なものの形や美術作品などを味わえる題材掲載の工夫がされている。</p> <p><学びに向かう力、人間性等を涵養するための工夫> ○多様な活動ができるよう、様々な材料や場、表現方法を示し、主体的に活動できるような題材が工夫されている。また、つくったものを通して、家族や高齢者などと交流する場面が例示されている。</p> <p><表現及び鑑賞に関する資質・能力を相互に関連させた学習を充実するための工夫> ○〔共通事項〕の内容を明確にするために、各題材に造形的な見方・考え方に関わってヒントになる言葉を示す工夫がされている。 ○表現と鑑賞の一体化を図りながら言語活動を促すために、様々な方法で鑑賞する活動や、児童が伝え合う様子を写真と吹き出しで示す工夫がされている。</p> <p><用具の安全な取扱いについて指導するための工夫> ○「使ってみよう 材料と用具」を設け、写真やイラストを使って説明している。題材ページ内の「気をつけよう」においても、囲みを設けて配慮すべき内容が、具体的に示されている。</p>	
資 料	<p>○実際の授業で撮影した情景写真を掲載し、授業の流れや学びのプロセスを児童がつかむことができるように工夫されている。 ○全国の児童がつくった作品例を掲載し、一部分を拡大したり、吹き出しで考えを記載したりして作者の工夫が読み取れるように示されている。</p>	
表記・ 表現	<p>○何を学ぶのかが分かるよう三つの学習のめあてを題材ごとに示す工夫がされている。キャラクターが発想のヒントを伝えたり、児童に学びを促したりする工夫がされている。題材の終わりには、学びを振り返り、次の学びへ生かそうとする児童のつぶやきが示されている。</p>	
総 括	<p>○保護者や地域とのつながりを表す様子を写真で紹介し、学校と児童の日々の生活をつなぐことができるような工夫がされている。 ○「図画工作のつながり ひろがり」では、学んだことを生活や社会に生かしてつながる事例を紹介し、楽しく豊かな生活を創造する心を育てる工夫がされている。</p>	

図画工作科 調査資料 2

○分量について

内容	学年	開隆堂	日文
1 総ページ数 ※ 目録に記載されたページ数	1・2年上	56	66
	1・2年下	56	64
	3・4年上	56	64
	3・4年下	56	64
	5・6年上	56	64
	5・6年下	56	64
2 材料や場所などを基に造形遊びをする活動のページ数	1・2年上	7	10
	1・2年下	6	8
	3・4年上	4	8
	3・4年下	4	10
	5・6年上	4	4
	5・6年下	4	6
3 絵や立体、工作に表す活動のページ数	1・2年上	29	34
	1・2年下	30	34
	3・4年上	32	36
	3・4年下	32	32
	5・6年上	28	34
	5・6年下	28	30
4 鑑賞の内容のページ数	1・2年上	12	11
	1・2年下	12	13
	3・4年上	12	11
	3・4年下	12	13
	5・6年上	16	17
	5・6年下	14	17
5 材料や用具の扱いに関する内容のページ数	1・2年上	6	8
	1・2年下	6	8
	3・4年上	6	8
	3・4年下	6	8
	5・6年上	6	8
	5・6年下	8	8

○作者別作品数について

内容	学年	開隆堂	日文
1 児童の作品数	1・2年上	89	77
	1・2年下	75	98
	3・4年上	83	96
	3・4年下	91	89
	5・6年上	82	112
	5・6年下	82	91
2 日本人の作家の作品数	1・2年上	3	0
	1・2年下	3	3
	3・4年上	3	3
	3・4年下	3	8
	5・6年上	10	17
	5・6年下	14	23
3 外国人の作家の作品数	1・2年上	2	0
	1・2年下	1	4
	3・4年上	3	0
	3・4年下	2	4
	5・6年上	5	1
	5・6年下	2	6
4 その他の作品数（建築物、民芸品等）	1・2年上	1	0
	1・2年下	4	1
	3・4年上	1	1
	3・4年下	7	12
	5・6年上	13	7
	5・6年下	12	6

※ 1 児童の作品数については、「作品の題名」、「作品の大きさ」が明記されているものの総数